

第99回 経営協議会議事録

日 時 令和3年6月28日（月）14時00分～15時50分

場 所 和歌山大学南1号館（事務局棟）3階共通会議室

出席者 伊東学長

熊谷委員、下委員、清木委員（Webにて出席）、田村委員、西平委員、森田委員

永井、恵下、中川、松谷、山本 各理事

（松原監事、柏原監事、添田副学長、足立副学長、マグレビ副学長、本山教育学部長、芦田経済学部長、野村システム工学部長、尾久土観光学部長、橋本企画課長、南方総務課長、猪原財務課長、藤原施設整備課長）

欠席者 島委員、辻委員

最初に、学長から、4月1日付けで就任した理事や学部長等の紹介があった。

学長から、第98回（3月29日）の議事録について確認があった。

議 題

1. 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

松谷理事から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

2. 第4期中期目標・中期計画（素案）について

松谷理事から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、現時点の素案については、了承した。文部科学省との事前相談の結果、修正があった場合は、7月に改めて審議することとなった。

（主な質疑）

・和歌山県に総務省統計局統計データ利活用センターが誘致されたが、そのセンターと連携した取り組みを行っているのか。

→和歌山県と県のデータ利活用推進センターも含めた連携協定を締結し、学生へのデータサイエンス教育を行っている。具体的には、統計局統計データ利活用センターのセンター長に講義を行っていただいたり、県のデータ利活用推進センターのセンター員にも参画いただき授業を行ったりしている。また、本年度から全学部生を対象に基礎的なデータサイエンス教育を行うこととしており、将来的には、データサイエンスにかかる学位プログラムの設置も検討している。

・観光学分野の専門職学位課程を設置する計画であるとのことであるが、ど

<p>のような人材を育成し、どのような職種で活躍することを目指しているのか。</p> <p>→観光地を経営できる人材の育成を目指している。出口としては、観光協会、DMO、自治体、地域で観光ビジネスを起業する者を考えており、そのために1年間をかけて地域において実践的な教育研究を行うカリキュラムを計画している。</p>
<p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、今後の将来を考えるとデータなどエビデンスベースに基づく分析力とそれに基づく実践力が求められる。その人材育成のため、和歌山大学においてデータサイエンス教育をより一層推進されることを期待する。</li> <li>・第4期中期目標・中期計画において、和歌山県教育委員会等とも連携しつつ教職大学院の教育研究の更なる高度化にも努めていただきたい。</li> </ul>
<p>3. 令和2年度決算(案)について</p> <p>中川理事から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、了承した。</p>
<p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業からの外部資金の受け入れ件数及び和歌山県内外の企業の内訳を教えてください。</li> </ul> <p>→後ほど、学外委員の皆様には状況が分かる資料を送付させていただく。</p>
<p>4. 令和4年度概算要求について</p> <p>中川理事から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、了承した。</p>
<p>5. 国立大学法人和歌山大学における授業料その他費用に関する規程の一部改正について</p> <p>中川理事から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、了承した。</p>
<p>6. 国立大学法人和歌山大学教職員配偶者同行休業細則の制定及び関係規則の整備について</p> <p>松谷理事から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、了承した。</p>
<p>報 告</p>
<p>1. 令和3年度役付職員等について</p> <p>学長から、資料7に基づき説明があった。</p>
<p>2. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第4期中期目標期間へ向けた国立大学法人の在り方について—強靱でインクルーシブな社会実現に貢献するための18の提言—」について</li> </ul> <p>松谷理事から、資料8に基づき説明があった。</p>

最後に、学長から、熊谷委員が、7月1日をもって日本放送協会和歌山放送局長を退職されるため経営協議会委員を辞任されるとの紹介があり、その後、熊谷委員から挨拶があった。

以 上